

(1) 令和7年度第1回発達障害児者地域生活支援モデル事業研修会（別紙1・2参照）

実施日時 2025年7月10日13：50～17：30

会場 かでる2.7 820研修室

講師 ①厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課  
地域生活・発達障害者支援室 併) こども家庭庁・支援局障害児支援課  
相談支援専門官 小川 陽 氏

②社会福祉法人福岡市社会福祉事業団

障がい者地域生活・行動支援センター か〜む 所長 森口哲也 氏

タイトル 本人を中心としたケアマネジメント 強度行動障がいのある方への相談支援

参加者 会場63名

配信研修 211機関、参加者486名、591回再生

(2) 令和7年度第2回発達障害児者地域生活支援モデル事業研修会（別紙3・4参照）

実施日時 2025年12月13日10：00～15：30

会場 札幌市教育文化会館 研修室305

講師 ①厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課  
地域生活・発達障害者支援室 発達障害施策調整官 山根 和史 氏

②社会福祉法人はる 理事長 福島 龍三郎 氏

タイトル 人と人をつなぐ強度行動障がい支援～人材育成と地域連携の新しいかたち～

参加者 会場69名

配信研修 136機関、参加者323名、318回再生

(3) 結果と考察

第1回研修会では、厚生労働省相談支援専門官および障がい者地域生活・行動支援センター所長による「強度行動障がいのある方への相談支援」をテーマとした講演を実施した。参加者数は、会場参加63名、動画視聴申込者486名、事後配信再生回数591回であった。参加事業所の種別では、相談支援事業所に所属する相談員が多数を占めた。研修後のアンケート結果では、「最新の相談支援の動向」について「大変参考になった」が51%、「参考になった」が41%であった。また、「強度行動障がいのある方のケース・マネジメント」については、「大変参考になった」が80%、「参考になった」が20%であった。両項目ともに、参加者の約9割が受講前と比較して「よく理解できた」または「理解できた」と回答した。

第2回研修会では、午前の部において厚生労働省発達障害施策調整官および社会福祉法人はるにれの里理事長による人材育成と地域連携をテーマとした講演を実施した。午後の部では、モデル事業担当者および本プログラム実施事業所による実践報告を行った。参加者数は、会場参加68名、動画視聴申込者323名、事後配信再生回数318回であった。現場支援者に加え、主任や管理者等の役職者の参加もみられた。アンケート結果では、「人材育成と支援者ネットワーク構築」について「大変参考になった」が69%、「参考になった」が28%であった。また、「人材育成等の実践」については、「大変参考になった」が78%、「参考になった」が20%であった。両項目ともに、参加者の約9割が受講前と比較して「よく理解できた」または「理解できた」と回答した。

以上の結果から、2回の研修を通じて、強度行動障がいに関する相談支援、人材育成および地域連携について、受講者の理解が一定程度促進されたことが示された。